



# YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

世界へのプレゼントになろう

「世界へのプレゼントになろう」 *Be a gift to the world*

2015-16年度 RI会長/K.R.“ラビ”ラビンドラン RI/D2590ガバナー/箕田 敏彦 横浜旭RC会長/新川 尚

国際ロータリー第2590地区

## 横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2 後藤ビル2F

TEL.045-365-3273

FAX.045-365-3132

Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

〒241-0821

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン

例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



2016年6月15日 第2247回例会 VOL. 47 No. 45

■司 会 SAA 二宮麻理子

■開会点鐘 会 長 新川 尚

■齊 唱 手に手つないで

SL 北澤 正浩

### ■出席報告

会 員 数	31 名	本日の出席数	22 名
本日の出席率	91.67%	修正出席率	100%

### ■本日の欠席者

漆原、斎藤

### ■他クラブ出席者

新川 (新横浜 RC)

### ■ビジター

一楽 祥子様 (ガバナー補佐・横浜あざみ RC)

久米 真浩様 (次年度ガバナー補佐・新横浜 RC)

柳沼 芳光様 (横浜瀬谷 RC)

石山 健人様 (横浜瀬谷 RC)

広瀬 圭様 (横浜瀬谷 RC)

土屋 了介様 (横浜 RC)

### ■ゲスト

稲垣 孟様 (客船飛鳥初代船長)

大川 伸一様 (神奈川県立がんセンター病院長)

### ○横浜隼人高校

高山英己先生 中野卓弥先生

並木 優人様 阿久津一稀様 五井 京介様

曾根 榛斗様 高橋 里奈様 田中 美野様

和田絵里奈様

### ■皆出席者表彰

市川 慎二会員 4年



### ■会長報告

皆様こんにちは、周期的に天気が変わり体調管理が難しいですが、風邪など引かないようにお気を付けいただきたいと思います。

本日は多くのお客様を迎えての例会となりました。特に、先月末に実施した高校生被災地体験プロジェクトに参加した横浜隼人高校の生徒7名と先生2名にお越し頂き、その時の模様をお話いただきます。高校生が例会に参加し話をするのはずいぶん久しぶりのことです。いまどきの高校生の目の付け処を聞いてみたいと思います。また、本日の卓話も滅多に聞く機会のない話ですので非常に楽しみにしております。

岩沼ロータリークラブからメロンが届きました。本日皆様のテーブルにお出ししましたので、ご賞味ください。

重ねてのお願いになりますが、今年度の活動報告書の準備をお願いします。

## ■幹事報告

### 1) 例会臨時変更のお知らせ

○横浜あざみロータリークラブ

日時 6月29日(水)最終夜間移動例会  
点鐘 午後6時30分

場所 たまプラーザ東急百貨店2階テラス

○横浜保土ヶ谷ロータリークラブ

日時 6月28日(火)夜間移動例会  
点鐘 午後6時

場所 モンテファーレ

横浜市保土ヶ谷区天王町2-45-55

### 2) 当クラブ

○クラブ活動報告書の提出について

6月末を7月末までと訂正致します。

○6月29日(水)は最終例会となります。

時間 午後6時～となります。

場所 二俣川コミュニティーサロン

## ■ガバナー補佐 一樂祥子様より



皆様にご支援ご協力をいただきましたお陰で1年間無事ガバナー補佐を務めることができました。本当にありがとうございました。このクラブのチャリティコンサート、被災地の高校生と地元高校生の交流会、区民祭りでの岩沼産米の販売等は地元と直結しつつ被災地への支援にもなる活動で素晴らしい活動だと感服しております。このような活動をなさっていらっしゃることは、ガバナー補佐を務めて初めて知ったのですがグループ内でもっと情報を共有することができたらと思っていました。

次年度は新横浜 RC の久米真浩さんがガバナー補佐を務めます。今年度同様ご協力くださいますようよろしくお願い致します。

○久米次年度ガバナー補佐のプロフィール

昭和 38 年 1 月 12 日生まれ

昭和 63 年 3 月大正大学大学院修士課程史学修了

平成 6 年 3 月洗足学園短期大学幼児教育科卒業

現職宗教法人泉谷寺(せんこくじ)副住職

小机幼稚園園長

横浜市幼稚園協会教育研究部員・総務部員

洗足こども短期大学非常勤講師

教員免許更新講習講師

ロータリー歴

平成 8 年(1996)2 月 2 日～新横浜 RC クラブ

2002-03 新横浜ロータリークラブ幹事

2006-07 新横浜ロータリークラブ会長

2011-12 地区インターアクト委員会委員長

2012-13 ロータリー青少年交換保護者会会長

2014-15 地区青少年奉仕委員会委員長

## ■次年度ガバナー補佐 久米真浩様より



次年度第 5 グループガバナー補佐を拝命いたしました。新横浜ロータリークラブの久米真浩です。浅学非才の身ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

既に、次年度ガバナー補佐の研修が 4 回開催されましたが、2016-17 年度地区方針「クラブの魅力創りと活性化」に鑑み、第 5 グループガバナー補佐として、5 つの“C”を実践したいと考えます。

### 5 C の実践

#### 1) Communicate(伝える)

絆を育む 組織は人が中心、ロータリーは会員が中心

#### 2) Connect(繋ぐ)

結集 一人ひとりの仲間を大切に  
して友情を分かち合う

#### 3) Continue(続ける)

リーダーシップの継続

長期目標と戦略計画の策定

(クラブの現状把握と戦略計画の策定)

#### 4) Create(創造する)

善き活動をより多く実現

「奉仕の中にこそ幸福と平和がある」

奉仕活動の創出

#### 5) Challenge(挑戦する)

世界でもっと大きな「よいこと」の推進力となる魅力創り

そして、「縦糸(地区組織)と横糸(人)で編んだ、奉仕という名の布で、温かくあなた

(人類)を包む」を念頭に、次年度一年間の任を全うさせていただきたく、皆様のご指導・ご鞭撻をよろしく願いたします。

#### ■岩沼 RC よりお礼の手紙

平成 28 年 6 月 8 日



向夏の候、時下ますますご清祥の段、貴クラブにおかれましてはますますご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃、岩沼ロータリークラブに対しまして格別のご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、先月 28 日、29 日に貴クラブと共同事業で行いました「千年希望の丘植樹祭と震災の記憶を次世代に繋ぐ」事業は横浜隼人高校・名取高校・常盤木学園高校の参加で、当初の計画より大きな規模のものになりましたが、皆様方のご協力のお蔭で事故もなく無事に終わることができ、心より感謝申し上げます。内心ほっとしております。高校生の参加人数が多いことは、この事業の効果を上げるものと思っております。

また、横浜よりハナミヅキの苗木をお持ちいただき、千年希望の丘(相の釜地区)に記念植樹をしていただきありがとうございます。高校生の心にいつまでも残ることでしょう。二宮会員様によりしくお伝えください。

今回千歳セントラルロータリークラブの参加もあり、十分なおもてなしが出来なく申し訳なく思っております。どうぞご容赦ください。これからも良いお付き合いをお願い申し上げます。御礼といたします。

尚、いつもお世話になっておりますメロン組合のクールボジャーの出荷が始まりました。お納めください。

岩沼ロータリークラブ 会長 田中 勲

#### ■横浜隼人高校被災地体験プロジェクト報告

○3年 並木優人

こんにちは。横浜隼人高等学校3年、生徒会長をしております並木優人です。今回、私たちは宮城県を訪問し、被害状況を見てきました。このような機会を与えてくださり有難うございます。事前説明を受けて、ある程度

被害状況を想像していきましたが、それ以上にひどかったです。植樹祭の会場は大きなはらっぱでしたが、そこは以前住宅地だったという話を聞いた時は衝撃でした。さらに何メートルもある丘の頂上まで津波が来たと聞いた時は想像もつかない気持ちになりました。それが1日目でした。2日目は中浜小学校を訪問してボロボロになった校舎を見て、当たり前のように登校している学校がと突然壊されてしまうことを想像すると悲しいです。学んだことを友人や家族と共有して今後の防災につなげていきたいです。



○2年 和田絵里奈

今回実際行ってみて、聞くだけではわからなかった震災のことをよく知ることができました。私が一番印象にのこっているのは、被害にあった学校を見に行ったことです。その学校は窓がほとんど割れてしまって、強い津波がきたことを感じました。津波がきたとき、生徒は屋上に上がって助かったと言っていました。そんなに高い所でないと助からなかったと分って本当に津波はおそろしいと思いました。宮城に行って学んだことは、行ってみないと分からないことばかりで、貴重な体験をすることが出来ました。有難うございました。

#### ■ニコニコ BOX(会員敬称略)

柳沼、広瀬、石山様(横浜瀬谷 RC) /今日は瀬谷クラブの若手二人を誘ってメイキャップに伺いました。ご迷惑をおかけします。

新川 尚 /①稲垣様、卓話宜しく申し上げます。②一樂ガバナー補佐、一年間ご苦勞さまでした。久米次年度ガバナー補佐、宜しく申し上げます。③土屋様、ようこそ。大川様、今後も宜しく申し上げます。柳沼さん、石山さん、広瀬さん、ようこそ。横浜隼人高校の皆さん、ようこそ!

市川 慎二 /①東京湾海難防止協会稲垣様、本日の卓話、宜しくお願い致します。②横浜 RC 土屋様、大川様、ようこそお越し下さいました。隼人高校の皆様、教室にはない環境を

楽しんでいって下さい。一樂ガバナー補佐、次期ガバナー補佐久米様、お忙しい中有難うございます。横浜瀬谷ロータリークラブの皆様ようこそ。③皆出席ありがとうございます。二宮 登／①土屋先生、ようこそいらっしゃいました。②第118回フィリピン独立記念日と日本フィリピン外交関係正常化60周年レセプションがインペリアルホテルで開催され、横浜市関山国際局長、マニラ友好委員会白根事務局長と出席してきました。

吉原 則光／今日は畏怖のロータリーの友6月号に川柳で「マイナスの金利に笑顔空箆箭」が掲載されましたので、空箆箭からニコニコへ！！

安藤 公一・今野 丁三／隼人高校の皆様、横浜瀬谷RCの皆様、ようこそ。一樂様、久米様の新旧ガバナー補佐、横浜RC土屋様、がんセンターの大川病院長、ようこそ。稲垣様、卓話宜しくお祈いします。

鈴木 茂之／みなさん、こんにちは。隼人高校の皆さん、ようこそいらっしゃいました。稲垣さん本日の卓話よろしくおねがいします。

佐藤 利明／①一樂ガバナー補佐、大変ご苦労様でした。久米次年度ガバナー補佐よろしくお祈いします。②初代飛鳥船長稲垣様、卓話宜しくお祈いします。③横浜隼人高校の皆様ようこそ。④瀬谷ロータリークラブ柳沼様、石山様、広瀬様ようこそ。

五十嵐 正／一隼人高校の皆さん、先日は東北視察お疲れ様でした。②稲垣さん、本日の卓話楽しみにしております。③新旧ガバナー補佐様、土屋さん、大川さん、瀬谷RCの皆さん、ようこそ。

佐藤 真吾／①稲垣様、本日はようこそお越し下さいました。卓話よろしくお祈いします。②隼人高校の皆様ようこそ。③一樂ガバナー補佐、久米ガバナー補佐エレクト、横浜瀬谷RCの皆様ようこそ。横浜RC土屋様、がんセンター病院大川様ようこそ

田川 富男／ロータリーは多方面の方々によって色々な奉仕をさせて頂いています。旭ロータリーにようこそ。

二宮麻理子／本日沢山のお客様がいらっしゃっています。皆様ようこそ。

滝澤 亮／長女恵が32歳にて結婚する事になりました。7月3日に相手に会います。

本山 雄三／今日は大勢の方にお越しただいて盛況ですね。皆さんようこそいらっしゃいました。

## ■卓話 世界の客船とクルーズの楽しみ方

稲垣 孟様

(略歴)

昭和14年2月24日東京生まれ横浜在住  
(父、日本郵船船長の長男 因みに母方祖父も日本郵船機関長船乗り3代目)

昭和37年 東京商船大学航海科卒業

日本郵船に三等航海士として入社海上勤務  
昭和47年～昭和52年

郵船ロンドン支店勤務 在勤航海士

昭和57年 船長拝命

昭和61年～昭和63年

郵船ロンドン支店勤務 在勤船長

昭和63年～平成2年

クリスタル・クルーズ社

(ロスアンゼルス) 副社長

客船「クリスタル・ハーモニー」副船長

(北米にて運航)

平成3年～平成7年

客船「飛鳥」初代船長

平成8年～平成25年

東京湾水先区水先人 (平成25年2月廃業)

海上勤務20年、陸上勤務13年、

水先業務17年

平成26年6月～

(公社) 東京湾海難防止協会 会長



皆さんこんにちは。只今ご紹介して頂きましたように、明治以来3代に渡り海に携わる仕事をして参りました。日本郵船に在職していた最後の時に客船に携わるチャンスを与えて頂き、約5年間客船に乗船いたしました。その経験から今日はお話しますが、中々客船の全貌をお話することは難しいと思います。本当は乗って頂くのが一番ですが、今日はいかぬでお話いたします。

客船がクルーズという遊びの為の形で本格的にスタートさせたのは今から50年前です。それまでの客船は太平洋や大西洋を渡る国際

交通手段で、その長旅を慰めるサービスという形でいろいろと工夫をこらし、催し物があったり、毎日豪華な食事をしたりとしておりましたが、1972年に航空業界でジャンボが就航しまして、交通手段としての機能がなくなりました。これを機に今度は完全に船が遊びの為の場所と変わりました。

この50年クルーズがどんどん伸びて参りまして、特に近年は中国を中心とした驚くような人数のマーケットが広がっております。そんな中で日本がどう関わってきたかと申しますと、横浜で氷川丸が繋げてありますが、昭和35年に客船事業を中止して、それ以来客船事業から離れておりました。そんな中で商船三井さんは移民船をやっておりましたが、それが変わって新さくら丸など客船に近いサービスを行っておりましたが、基本的にはクルーズとしては行われておりませんでした。その後30年たちまして、1980年代後半に日本郵船が世界でこれだけ流行っている事業をもう一度やってみたいということになりました。

そこで、何から始めたら良いのかいろいろ検討しまして、昔は日本郵船は太平洋航路など、世界に冠たる客船事業をやっておりましたが、それが全て無くなり、そのノウハウをそのまま読み返してクルーズを始めても、今の新しいクルーズには対抗できないということで、一から始めることとしました。

実は客船というのはいろんな種類のものがあります。日本では豪華客船と表現しますが、実は豪華客船という言い方は何の意味もなさない、今出来ている客船は全て豪華です。中も素晴らしい、そんな船内でお客さんにどんなスタイルで遊んで頂くか、いくつかのグループに分かれますが、その中で郵船が目指したのは、一番トップクラス、値段もサービスもトップ。そして、お客さまも一番上の高齢者を対象にして、出来るだけゆったりと、毎日毎日忙しく遊びまわるようなものではなく、出来るだけゆったりと船旅を楽しんでいただく、ラグジュリーというコース。一番トップから入ろうと考えました。と申しますのは、適当に初めて評判がいいから上に行こうとしても、最初のイメージが定着して、中々上に行けません。クルーズというのはそういう社会でして、最初に計画する段階から、どういうお客さんを、どのように楽しませるか、値段はこの位と考え、全てコンセプトを決めて、客船事業に乗り出すわけで、このコンセプト



を決めることが、最も重要な事となります。

そこで先ずは長崎で造られたクリスタルハーモニー。船長はノルウェーの人、残念ながら我々郵船の乗組員は30年クルーズの経験は全くないものですから仕方ありません。この船は1990年に竣工しましたが、翌年飛鳥が出来私が乗りましたが、この飛鳥は日本で造った、日本人の為の最初のクルーズ船でした。この飛鳥は非常に人気がありまして、2006年にドイツにお嫁入りします。いまドイツでアマディアという名前で行っております。その代替えとして、クリスタルハーモニーを日本に持ち帰り、2006年から飛鳥Ⅱという名前で今運行しております。お客様は約900名で450名の乗組員で運行しております。

皆さんご存知のクイーンエリザベスⅡですが、この船は客船の丁度過渡期の船で、今も活躍しております。クリスタルハーモニーは約5万トン、その頃大きかった船は7～8万トン。その頃の話で、今から5年～10年後には15万トンの船ができると云われておりました。どんな船かと云えば、台の上にマンションが建っているような船で海に浮かぶだけ、そんな船が成り立つのかと思っておりました。何のことはない10年も過ぎたら、クイーンメリーⅡが14万トン、お客様は2,600人に乗組員が約1,300人。そしてその5年に、今世界で一番大きな船22.5万トン客数5,400人乗組員が2,260人。船に7,000人が乗って、一大都市が海の中を動いている。この会社はこの船を5隻発注し、今3隻が動いています。船の中に入ると街さながらにショッピングアーケードがあり、それこそロッククライミングからサーフィン等なんでも出来る、これが今一番新しい船です。

それでクルーズを私が始めた1990年頃の客船人口は世界で400万人いらっしゃいました。今の客船人口は、2年前に2,300万、昨年が



2,400万、来年は2,500万人と云われております。お隣の中国の潜在客船人口は8,000万人と云われております。それを狙ってアメリカの会社はこぞって中国に拠点を作り、中国から爆買いクルーズをやっております。ただ、受ける側、日本の体制が整っておらず、5,000人クラスの観光スペース、今はバスが用意出来ない、また、食事をする場所もないといろいろと問題はあります。これから解決しなくてはならないことと思います。特に西日本中心で横浜までは時間的に足が延ばせない、大体九州方面となっております。

先ほど申し上げた船の種類は目的別に分類されます。カジュアル・プレミアム・ラグジュアリーと大体3つのカテゴリーに分けられます。カジュアルというのは、安くて家族で楽しむ、期間は短くて大体1週間以内。大体カリブ海のクルーズを想定しております。費用は一日1万円位。ラグジュアリーですと1日3万円位で、期間も大体2週間でゆっくりしている。こういう意味での分け方がありますので、どの船が良くて、どの船が悪いというのではなく、目的がそれぞれ違う、外から見ると同じ客船ですけど、乗る前にこの客船はどういう目的で、どういうエンターテインメントを用意しているか、調べてみられると良いと思います。

その次に、具体的にどう見るか一つの指標ですが、船の大きさ、スペースとお客様の人数、スペースを人数で割りますと、今の新しいクリスタル号は、一人当たり67.5トン、この基準で50トン以上ですと、ラグジュアリークラスです。他の客船で40トンという船もありますが、窮屈とかいったことはありません。

もう一つはお客様の人数によって従業員が何人乗っているかという指標もありますが、クリスタル号は5つ星でトップですが、1,020人のお客様に対し、従業員は650人、お客様1.6人に対して1人の従業員がおります。この意

味する処はサービスの提供度合となります。当然ながら大きな船になりますと、お客様2.5人に対して1人という船もございます。これらが一つの指標ですが、中に入るといろいろなサービスが船によって異なりますが、今ほどの船も競って様々なサービスが用意されております。

何で船旅が素晴らしいのか、それは安全・快適・便利。便利と申しますのは、一端荷物を解くと、あとは手ぶら観光も出来、船の中で遊ぶことも出来、非常に開放感のある旅行が出来ます。船の中では、健康面、スポーツ施設、医療施設も揃っておりますので安心して楽しんでいただける。こんなことで非日常を楽しんで頂く、例えば船の中ではフォーマルパーティーが行われます。その時は、皆さんドレスアップして頂きますが、中にはそれがメンドクサイと云われるお客様もいらっしゃいますが、これは何の為にやっているかと申しますと、そうしなくてはいけないではなくて、そういう雰囲気を作って、その雰囲気を楽しもうというものです。何もそれが儀式として必要とかセレモニーでやっている訳ではないので、気楽に考えて頂ければよいと思います。皆さんの雰囲気を壊さないようご配慮頂ければと思います。

私は船は安全なものと思っておりますが、残念ながら海難事故が起こっております。2年前には韓国での事故、有名な処では1912年のタイタニック号の事故。その丁度100年後2012年の1月13日にイタリアでの事故がありました。事故はあってはいけないことですが、自然を相手にしておりますから、いかに大きな船でも海では木の葉といっしょです。ひとつの判断ミス、操船ミスがあれば大きな事故につながります。今事例を挙げました、韓国、イタリア、タイタニック等全て操船ミス、人間の判断ミスであります。それをしないように、訓練をしたり、経験を積んだりしておりますが、安全運航に一番大切なことは、お客様と乗務員の調和が不可欠だと思います。その一例をご紹介します。

実は、クリスタルハーモニーが就航したのが1990年の6月でございます。始めは、夏場はカリブ海やアラスカ航路、秋にはカリブ海航路をしておりました。丁度私が休暇前の10月1日（日本郵船の創立記念日）に、カリブ海で火事を起こしました。

丁度副船長として、ダイニングでお客様と



家内も一緒に食事をしている最中にウエイターから呼び出しがありました。食事時の呼び出しは普通ではありえませんが、何か大変な事があったと直感しました。私がすぐに作業着に着替え船橋に上がりました。エンジンルームが火事とのことでした。当時私は副船長として、消火の総指揮をしておりまして、すぐに現場に行きましたら、鉄板も焼けどうしようもない状況でした。すぐに消火活動に入り3時間ほどで当面は火事が収まりました。一つ間違えれば大火災になる処でした。実は私はテーブルから離れましたが、そういう気配やニュースがお客様に伝わりまして、後でテーブルに残っていた家内から聞いた話ですが、お客様は高齢の方たちで、お客様からこの船は訓練の行き届いているから心配ないと、お客様から慰めてくれたそうです。その後、混乱もなくお客様に部屋に戻って頂きました。

実はエンジンルームといってもエンジンそのものではなく、配電室が丸焼けになって、電気が全面ストップしてしまいました。カリブ海の10月はまだ暑いのですが、冷房、トイレ、冷蔵庫も止まり、ライフラインが全てストップした状況でした。夜の7時ですから、皆さん外に出て寝るしかない、そんな事でした。翌朝私がデッキに上がりました。そこに素晴らしいお花畑と思われるような、ブッフェが出来ておりました。前日の状況をただ眺めているだけでなく、シェフ達は、冷蔵庫が使えないので、食糧を全部出して、デコレーションを工夫し、朝までに素晴らしいブッフェを用意して、お客様に興じようと頑張ってくれました。

お客様はそれで慰められたと申しますか、それからいい関係のなかで、お客様から文句一つ言われることはありませんでした。実はエンジンが止まってどうしようかという状況

で、ノルウェーのエンジニアはもうダメだとギブアップしており、タグボートと呼ぶという事になり、パナマとベネゼイラから呼ぶ事になり、両方とも呼ぶのに2日掛かる、その時郵船からエンジニアが8人乗っておりまして、日本人の機関長以下8名に相談した。処、「まかしてくれるなら何とか出来るかもしれない」と言われました。そこで、船長に「日本人のエンジニアから何とかできるかもしれない」と話したら、「出来るものならやってみろ」と言われおりました。

実は現場は真っ暗な所で、何百本の線を一本一本調べ、それを繋いで、最終的にはメインエンジンを動かす事が出来ました。翌日の午後、ゆっくりですが何とか走れるようになり、次の日の午後にはフルスピードで運行することが出来ました。

動いた時にお客様から船内放送をさせて欲しいとの要望があり、許可した。処、お客様はマイクを取り「この船で大変な思いをしたけれど、これだけの事を乗組員がやってくれたので、皆で感謝しよう」と呼びかけ、結果的に百通に亘る船長宛の手紙、500人以上がサインした感謝状、そして多額の寄付が集まりました。そしてパナマからジャンボのチャーター便でお帰り頂きました。

その後、その事故に対するアメリカの安全調査委員会の調査が入りました。そしてその後出版された旅行雑誌に「このクリスタルハーモニーは世界一安全な船」と紹介され、これだけの事象でこれだけの対応が出来る船は何が起きても大丈夫との評価を得て、このクリスタルハーモニーは始まって半年ですが、いきなり5つ星に評価され、会社は世界最優秀の会社に認定され、その名声は今でも保っております。

中身を話すともっといろいろありますが、少なくともお客様の理解、乗組員との調和、そういうことがあって、そういう事故を乗り越えられたと思っております。第一の言動力は日本人のエンジニアの技術力の高さで、私は感謝しております。

本日は有難うございました。

(文責 五十嵐)

## ■次週の卓話

6/29(水) 最終夜間例会

点鐘 午後6時

週報担当 吉原 則光

平成28年度5月出席率一覧表

員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	
1	秋 内 繁	100	0	100	21	佐 藤 真 吾	67	33	100	
2	安 藤 公 一	100	0	100	22	佐 藤 利 明	100	0	100	
3	安 藤 達 雄	-出席規定免除-			23	関 口 友 宏	100	0	100	
4	青 木 邦 弘	100	0	100	24	鈴 木 茂 之	67	33	100	
5	福 村 正	67	33	100	25	田 川 富 男	100	0	100	
6	後 藤 英 則	100	33	133	26	滝 澤 亮	100	0	100	
7	市 川 慎 二	100	33	133	27	内 田 敏	-出席規定免除-			
8	五十嵐 正	100	0	100	28	漆 原 恵 利 子	67	33	100	
9	北 澤 正 浩	100	33	133	29	矢 田 昭 一	-出席規定免除-			
10	今 野 丁 三	-出席規定免除-			30	吉 野 寧 訓	-出席規定免除-			
11	倉 本 宏 昭	-出席規定免除-			31	吉 原 則 光	-出席規定免除-			
12	増 田 嘉 一 郎	100	0	100	32					
13	本 山 雄 三	100	0	100	33					
14	新 川 尚	100	67	167	34					
15	二 宮 麻 理 子	67	33	100	35	高 梨 昌 芳	名 誉 会 員			
16	二 宮 登	67	33	100	36					
17	岡 田 清 七	-出席規定免除-			37					
18	太 田 勝 典	-出席規定免除-			38					
19	太 田 幸 治	-出席規定免除-			39					
20	齊 藤 善 孝	100	0	100	40					
例 会 日		11日		18日		25日				平 均
例会出席率		$\frac{28}{28}$	100%	$\frac{22}{24}$	91.67%	$\frac{24}{28}$	85.71%			
修正出席率		$\frac{28}{28}$	100%	$\frac{24}{24}$	100%	$\frac{28}{28}$	100%			100%